

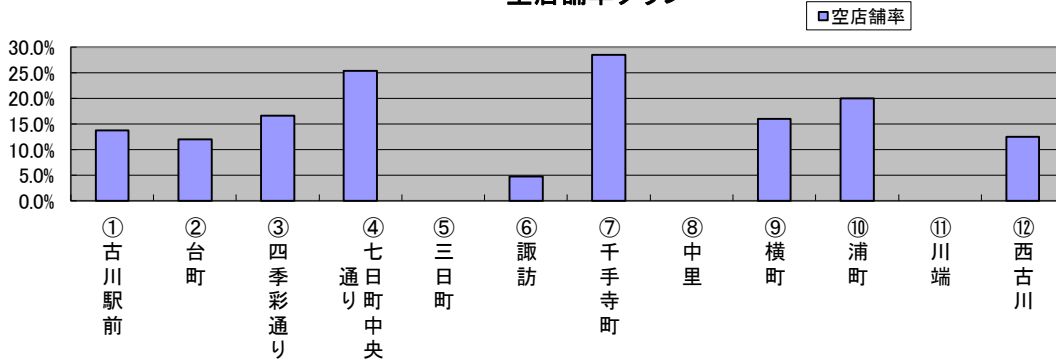
## 空店舗調査結果(平成28年12月)

調査時点：平成28年12月1日現在  
 調査日：平成28年12月1日  
 調査担当：古川商工会議所  
 足利 文香(中小企業相談所)  
 高橋 ひとみ(大崎市商工振興課 商工振興係 主査)  
 対象商店街：12(調査月3月・6月・9月・12月)  
 空店舗率は小数点第二位以下切り捨てにより算出

商店街名	既存店舗数	空店舗数	空店舗率	前回調査結果	増減	備考
①古川駅前	51	7	13.7%	7	0	
②台町	58	7	12.0%	6	1	
③四季彩通り	18	3	16.6%	4	-1	
④七日町中央通り	51	13	25.4%	13	0	
⑤三日町	17	0	0.0%	0	0	
⑥諏訪	21	1	4.7%	0	1	
⑦千手寺町	14	4	28.5%	2	2	
⑧中里	10	0	0.0%	0	0	
⑨横町	25	4	16.0%	4	0	
⑩浦町	10	2	20.0%	2	0	
⑪川端	9	0	0.0%	0	0	
⑫西古川	8	1	12.5%	1	0	
合計	292	42	14.3%	39	3	

(平均)

空店舗率グラフ



<移動状況>	空き店舗		既存店舗		
	増加(+)	減少(-)	新築(+)	新規(+)	解体(-)
台町	・11月にんにく居酒屋 屋楽歩廃業				
四季彩通り		・11月もみもみ創業			
諏訪	・11月旧齋藤八百屋 廃業				
千手寺	・10月旧B'廃業 ・11月旧美容たけう ち廃業				

※特記事項

(H28.9比)

・「リオーネふるかわ」テナントは、空店舗から除外します。

(移動理由の意味)

増加：退店後空き店舗になった場合。(自社及び貸店舗)

減少：既存空店舗に入店した場合。

新築：新たに建設した場合。

新規：既存店舗の分割による増加店舗。居宅用から貸店舗への転換。(既存店舗数の増加)

解体：既存店舗の解体。(既存店舗数の減少)

除外：既存店舗の賃貸物件取止め。